（様式第３号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	・雇用、昇格昇進、福利厚生などあらゆる雇用条件に関して、差別しない体制を構築し代表が積極的に関与。職員意識醸成の研修実施。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2			【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	・各ハラスメントに関しての勉強会を始め就業規則に同行為禁止の内容を明記。また代表へ直通の相談窓口を用意					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3			【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	・労働基準法を遵守。改正内容に関しても随時労使間にて共有。時間管理や改善に関しては所管部署にて対応								8.5 8.8									
4			【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	・現在外国人労働者が就労していないため。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5			【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	・随時労働環境の整備に取り組むと共に実際に労災が発生しないように注意喚起し事前に芽を摘んでいる。			3					8									
6			【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	・スタッフ同士による定期的な面談の実施にて、個々のメンタルヘルスケアの対応を図っている。			3														
7			【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	・女性経営者ならではの視点で年齢、性別等に関係なくそれぞれが活躍できるポジションで仕事に取り組んでいる。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8			【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	・本人の啓発の助けとなる機会を設け、新プロジェクトなど積極的に参加させている。				4	5.5			8	9								
9			【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	・パートタイム労働法、労働契約法等の改正内容を理解し、同一労働同一賃金等の原則に沿った体制の整備・対応を実施。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10			【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	・無農薬にて稲作を実施。食育を中心に栄養士を招き地産地消・サキベジ運動の啓蒙と実施。			3					8									
11	環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	・廃棄物を種類ごとにまとめて出すように管理している。											11.6	12.4		14.1			
12			【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	・主たるエネルギーの供給者である都市ガス供給業者による省エネ診断の結果を踏まえた省エネ計画を策定している。							7.3						13				
13			【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	・温室効果ガスの排出抑制のため、冷暖房設備を順次最新の機器へ置き換え工事を行なっている。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14			【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、持ち込まないようにしている。			3.9			6.3					11.6	12.4					
15			【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	・【予定】生物多様性への依存と影響を把握し、負の影響を削減するための計画を検討していく。						6.6									15		
16			【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	・廃棄物を種類ごとにまとめて出すようにする事で、ゴミ袋を削減している。 ・服飾用生地の端切れを破棄せずに製品やワークショップの材料として再利用している。												12.5		14.1			
17			【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	・水利用状況を把握し、使用料削減等の計画を検討していく。						6.4 6.6											

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18			【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	・【予定】環境マネジメント規格を把握していく。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19			【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	・【予定】HP等で環境情報を公開する。												12.6					
20			【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	・太陽光発電に投資し、グリーン電力の普及に力を入れている。							7.2						13				
21			【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	・プラスチック抑制時代に対し、生分解性原料による製品作りを創立当初より一貫して心掛けている。												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・社員に対しコンプライアンスの重要性を伝えている。																16 16.5	
23			【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・社員に対しコンプライアンスの重要性を伝えている。																16	
24			【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・必要な特許・商標については、特許庁への申請と共に、権利を得ている。								8.2 8.3	9								
25			【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・お客様の個人情報等がもれないよう適切な形で管理している。																16	
26			【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	・鉱物を取り扱う業務を行っていないため。																16	
27			【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	・取引先とは契約、納品時に必要な書類を取り交わし、確認をしている。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・生産の流れを自社で把握し、納品までの段階で複数チェックを行っている。			3.9									12.4					
29			【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・生地の織、染色、縫製まですべての工程を日本国内で行っており、製品の品質を一定に保つようにしている。									9								
30			【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	・繊維として世界で初めて取り組んだ【ポリ乳酸繊維】の製品化やサトウキビ繊維の製品化試験等持続可能な環境に配慮した製品作りに取り組んでいる。						6						12	13	14	15		
31			【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	・エコロジーな婦人服、ウエディングドレスを展開し、エシカルファッションの普及に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	社会貢献・地域貢献		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・県内唯一の企画から販売までを行うアパレルブランドということもあり、若い世代（中学生、高校生）の職業体験やインターンシップを積極的に取り入れている。				4					9		11	12		14	15		17
33			【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・子ども向けワークショップ【光のカケラプロジェクト】を行政や企業と一緒にCSR活動の一環として取り組んでいる。				4							11			14	15		17
34			【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	・無農薬の稲作を試みや、長野県産の花から抽出した染料で花染などを行っている。								8	9		11	12	13				
35	組織体制		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・ブランド理念を明文化している。代表が理念を持ち適時職員に説明し、共有している。								8	9								17
36			【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・各部毎の専門法令を理解・共有し遵守に心掛けている。																16	
37			【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・創立時より会社全体の理念として環境を意識した生産方法や社内体制を整備している。																16	
38			【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	・消費者を中心に適切な商品サービスを提供できるように心がけ、常に検討している。																16	17
39			【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・商品クレームなどの対応について、消費者に満足いただけるよう対応、スタッフ体制を整えている。																16	
40			【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	・子ども向けワークショップ【光のカケラプロジェクト】はこれまで3000名を超える子どもに参加してもらい、色育活動を行っている。																16	
41			【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	・地震、水害、火災等の保険加入も含め、事業を継続できるように配慮してある。									9		11		13 13.1			16	
42			【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	・将来に向け後継者を育成し、事業継続に向け検討している。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
アップサイクル商品の企画開発	長野県のジビエ革を使用した製品化のテストや、レンタル衣装として使用されていた廃棄されてしまう白無垢の衣裳をリメイクした製品開発など、ファッションを通じて資源の大切さ、文化の大切さを伝える活動をしている。								8	9 9.4			12 12.5			15 15.4		
未来の可能性【子ども達】へ向けた教育支援	色育ワークショップのひかりのカケラプロジェクトは、製品を作る際に出てしまう残布を約100色に染め貼り絵の画材としている。また、関連企業から廃棄されてしまう資源を譲っていただき材料として再利用している。子どもたちへの感性教育【色育】として【色の大切さ】【資源の大切さ】を伝える活動を行っている。				4 4.2								12 12.5					

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）